

地域の活力!

個人質問

誠和会……小高良則



下水道問題について

問 8月のゲリラ豪雨の際、冠水地では車が立ち往生し、一区内では床下または床上浸水があり、住民は大変困惑している。そこで大池調整池について、今後の計画を伺う。

市長 大池調整池の整備は、平成19年度から上流池の築造工事を行っており、今年度末には59・1パーセントの整備率となる見込です。また、国道409号歩道下に今年度から4力年で枝線を整備し、その後、平成24年度から大池第三雨水幹線の推進・シールド工法部分に着手する計画です。

8月5日のゲリラ豪雨による市内冠水8カ所のうち、半数以上が八街駅北側市街地に集中しており、これを解消すべく平成28年度からの大池第三雨水幹線供用開始を目指し、整備を進めています。

道路管理について

問 第一幼稚園東側道路に

布した側溝について伺う。

市長 現在、設置してある側溝は、ふたのない古いタイプの物です。歩行者の安全確保という観点から、今後ふたをかけるよう計画していきたいと考えています。

安心・安全なまちづくりについて

問 7月22日より新しく幹部交番が移転し、機能し始め、さらなる治安維持を期待するところだが、建物が道路より奥まっしてしまい、また、看板も同様に小さく目立たない。訪れる人々のために改善できないか。

市長 看板については、警察の設置基準により整備されていると聞いていますが、市民からの意見として佐倉警察署に協議していきたいと考えています。

問 本市警察署の計画の考えについて伺う。
市長 本市としても、警察署にすることにより、警察力を強化し、事件事故の減少や犯罪抑止に結びつけら

れるものと考えていますので、引き続き要望をしていきたいと考えています。

商業発展について

問 さとバスの駅乗り入れはかなわないか伺う。

市長 八街駅北口ができたことも踏まえて、富里市の方も便利になると思います。乗り入れについては、富里市の判断によるものであり、その後、具体的な動きはありませんが、そのような意向が示されたときには、当然としても可能な範囲での協力をしていくという姿勢に変わりはありません。

その他の質問

道路で水位の高い冠水時の対応について

床下浸水時の対応について

教職員の定数について

中央公民館の駐車台数の確保について

個人質問

今後の障がい児支援について問う!

誠和会……山口孝弘



障がいの早期発見・早期対応について伺う。

市長 幼児期の健診により、発育や発達の遅れが発見された場合、あそびの教室やことばの相談室、つくし園へとつなげるなどの対応をとっています。しかし子どもの成長・発達について、親の理解不足や親が子どもの障がいを受け入れられないなど、十分な支援ができないケースもあります。

今後は、親の気持ちに寄り添い、さらなる信頼関係を築けるよう関係機関の連携を強化し、早期に適切な支援を図れるよう努めます。

就学前・学齢期・青年期の支援策について伺う。

市長 就学前は、専門的療育の機能を持つ入通所施設や児童デイサービスなどの支援が行われ、保育園や幼稚園においても受け入れていきます。学齢期・青年期は、日中は特別支援学校や市内の小中学校における特別支援学級、放課後や休日、夏休みなどは、日中一時支援事業や児童デイサービス事業、児童クラブなどが利用されています。

今後は、障がいを持つお子さんの受け入れ体制を充実させ、障がいに対する差別や偏見を解消し、多様化する障がいの種別や程度に適切に対応できるよう、指導員の資質向上に努めます。

ことのないよう、連携を強化し、保護者が身近に感じられる環境で相談支援を受けられるようにすることが必要です。また、障がいを持つお子さんの生活基盤は家庭であり、保護者の方々は身体的・精神的にも負担を感じていることから、在宅支援の強化も重要です。

今後は、一貫した相談支援に対応できるよう、個人情報保護に留意しつつ、障がいを持つお子さんについての情報を関係機関で継続して共有できる仕組みの構築に努めます。また、身体的・精神的な負担の解消を図るため、短期入所や日中一時支援の積極的な活用とあわせ、親同士の情報交換や交流の場として活用できる事業所の利用を促進していきます。

その他の質問

ふるさと納税について

裁判員制度について

農業活性化について

公共施設について

幼児ことばの相談室

